



平成31年7月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年3月8日

上場会社名 株式会社 メディアシーク
 コード番号 4824 URL <http://www.mediaseek.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西尾 直紀

問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務管理部長 (氏名) 根津 康洋

TEL 03-5423-6600

四半期報告書提出予定日 平成31年3月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年7月期第2四半期の連結業績(平成30年8月1日～平成31年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年7月期第2四半期	944	30.6	16		10		11	
30年7月期第2四半期	723	2.8	94		79		60	

(注) 包括利益 31年7月期第2四半期 31百万円 (%) 30年7月期第2四半期 132百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年7月期第2四半期	1.14	
30年7月期第2四半期	6.16	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年7月期第2四半期	2,123	1,553	70.0	152.60
30年7月期	2,197	1,584	70.0	157.82

(参考) 自己資本 31年7月期第2四半期 1,486百万円 30年7月期 1,537百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年7月期		0.00		0.00	0.00
31年7月期		0.00			
31年7月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年7月期の連結業績予想(平成30年8月1日～平成31年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,877	25.0	10		35		24		2.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年7月期2Q	9,766,800 株	30年7月期	9,766,800 株
期末自己株式数	31年7月期2Q	23,319 株	30年7月期	23,319 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年7月期2Q	9,743,481 株	30年7月期2Q	9,743,500 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間においては、世界的な政治・経済環境の変動において先行き不透明な状況が続いていることから、日本経済全般に対する中長期的影響について引き続き先行き不透明な状況が続いております。

当社グループは、法人事業において、国内クライアント企業向けRPA(ロボットによる業務自動化)ツール導入のコンサルティング業務が拡大しつつあり、前年同期実績に比べ売上が拡大しました。コンシューマー事業においては、スマートフォン向け広告収入が比較的堅調に推移しており、売上はほぼ前年同期並の実績となりました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、944,415千円(前年同期比30.6%増)、営業損失は、16,453千円(前年同期は、94,586千円の営業損失)、経常利益は、10,015千円(前年同期は、79,229千円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は、11,083千円(前年同期は、60,030千円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメント別の概況は以下の通りです。

(法人事業)

法人事業においては、主に国内の法人クライアントに対するシステムコンサルティングサービスを実施しました。国内クライアント企業向けRPA(ロボットによる業務自動化)ツールの導入コンサルティング業務が拡大し、当社グループが提供するRPAツール「ipaS」のライセンス数も堅調に拡大しています。その結果、同事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、781,926千円(前年同期比37.9%増)、セグメント利益は、72,957千円(前年同期は、3,696千円のセグメント損失)となりました。

(コンシューマー事業)

コンシューマー事業においては、スマートフォン向け無料提供アプリ「バーコードリーダー/アイコンット」が2019年1月に累計2,900万ダウンロードを達成し、その後もダウンロード数を拡大しております。スマートフォン向け広告収入が比較的堅調に推移しておりますが、コンシューマー事業全体としては、ほぼ前年同期並の実績となりました。その結果、同事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、162,462千円(前年同期比4.3%増)、セグメント利益は、19,360千円(前年同期比5.5%減)となりました。

(その他)

その他においては、前連結会計年度に新設した研究開発部門にて、動画配信及び画像解析等の分野の研究開発を中心とした事業開発を実施しました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、26千円(前年同期比55.1%減)、セグメント損失は、11,892千円(前年同期は、16,202千円のセグメント損失)となりました。

なお、売上が発生しておりますが、現段階での研究開発活動における副次的な産物であり、僅少な金額に留まっております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

①資産の部

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、2,123,073千円(前連結会計年度末から74,239千円の減少)となりました。

このうち、流動資産は、1,224,907千円(前連結会計年度末から61,041千円の減少)となりました。これは、主として現金及び預金が125,595千円減少した一方で、売掛金が41,919千円増加したこと及び流動資産のその他に含まれている預け金が14,581千円増加したことによるものです。

固定資産は、898,166千円(前連結会計年度末から13,197千円の減少)となりました。これは、主として投資有価証券が14,279千円減少したことによるものです。

②負債の部

当第2四半期連結会計期間末における負債は、569,934千円(前連結会計年度末から42,679千円の減少)となりました。

このうち、流動負債は、356,320千円(前連結会計年度末から27,859千円の減少)となりました。これは、主として1年内返済予定の長期借入金が28,173千円減少したこと及び賞与引当金が13,798千円減少した一方で、流動負債のその他に含まれている未払金が13,811千円増加したことによるものです。

固定負債は、213,614千円(前連結会計年度末から14,820千円の減少)となりました。これは、主として長期借入金14,067千円減少したことによるものです。

③純資産の部

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、1,553,138千円(前連結会計年度末から31,559千円の減少)となりました。これは、主として非支配株主持分が19,299千円増加した一方で、その他有価証券評価差額金が39,554千円減少したこと及び親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したことにより利益剰余金が11,083千円減少したことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、期首に比べ111,014千円減少し、899,479千円(前連結会計年度末は、1,010,494千円)となりました。

また、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローは次の通りです。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、40,252千円の支出(前年同期は、63,974千円の支出)となりました。これは、主として税金等調整前四半期純利益を10,015千円計上した一方で、賞与引当金が13,798千円減少したこと及び売上債権が41,804千円増加したことによるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、29,748千円の支出(前年同期は、7,872千円の支出)となりました。これは、主として投資有価証券の取得により29,550千円を支出したことによるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、42,240千円の支出(前年同期は、105,166千円の支出)となりました。これは、長期借入金による収入・長期借入金の返済により差引42,240千円を支出したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年7月期の連結業績予想については、概ね当初の業績予想通りに推移しているため、平成30年9月7日に公表しました業績予想の数値に、変更はありません。

なお、当該予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものです。実際の業績は、様々な要因によって、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成31年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	967,282	841,687
売掛金	198,647	240,566
商品	2,390	3,153
仕掛品	15,564	9,309
その他のたな卸資産	3,500	3,429
その他	98,959	127,251
貸倒引当金	△395	△490
流動資産合計	1,285,948	1,224,907
固定資産		
有形固定資産	16,307	18,229
無形固定資産		
その他	2,732	2,175
無形固定資産合計	2,732	2,175
投資その他の資産		
投資有価証券	797,519	783,239
その他	121,455	121,173
貸倒引当金	△26,650	△26,650
投資その他の資産合計	892,323	877,762
固定資産合計	911,363	898,166
資産合計	2,197,312	2,123,073

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成31年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	41,484	42,693
短期借入金	30,000	30,000
1年内返済予定の長期借入金	201,526	173,353
未払法人税等	5,972	7,264
賞与引当金	22,096	8,298
関係会社整理損失引当金	5,041	5,041
その他	78,058	89,668
流動負債合計	384,179	356,320
固定負債		
長期借入金	199,458	185,391
資産除去債務	27,724	27,862
その他	1,251	360
固定負債合計	228,434	213,614
負債合計	612,614	569,934
純資産の部		
株主資本		
資本金	823,267	823,267
資本剰余金	954,521	954,521
利益剰余金	△113,990	△125,073
自己株式	△39,704	△39,704
株主資本合計	1,624,093	1,613,010
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△83,230	△122,785
為替換算調整勘定	△3,177	△3,398
その他の包括利益累計額合計	△86,408	△126,184
新株予約権	3,313	3,313
非支配株主持分	43,699	62,999
純資産合計	1,584,698	1,553,138
負債純資産合計	2,197,312	2,123,073

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年8月1日 至平成30年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年8月1日 至平成31年1月31日)
売上高	723,106	944,415
売上原価	606,455	717,123
売上総利益	116,650	227,292
販売費及び一般管理費	211,237	243,745
営業損失(△)	△94,586	△16,453
営業外収益		
受取利息	12,730	12,516
受取配当金	3,398	4,002
投資有価証券売却益	—	14,400
その他	1,951	217
営業外収益合計	18,080	31,136
営業外費用		
支払利息	2,570	2,635
和解金	—	1,000
その他	153	1,031
営業外費用合計	2,723	4,667
経常利益又は経常損失(△)	△79,229	10,015
特別損失		
関係会社株式売却損	842	—
特別損失合計	842	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△80,072	10,015
法人税、住民税及び事業税	2,188	2,343
法人税等調整額	△391	△766
法人税等合計	1,797	1,576
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△81,869	8,438
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△21,839	19,521
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△60,030	△11,083

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年8月1日 至平成30年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年8月1日 至平成31年1月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△81,869	8,438
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△49,582	△39,554
為替換算調整勘定	△602	△735
その他の包括利益合計	△50,184	△40,290
四半期包括利益	△132,054	△31,852
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△109,914	△51,152
非支配株主に係る四半期包括利益	△22,140	19,299

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年8月1日 至平成30年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年8月1日 至平成31年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△80,072	10,015
減価償却費	3,935	3,612
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△67	95
賞与引当金の増減額(△は減少)	△12,199	△13,798
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△625	—
受取利息及び受取配当金	△16,129	△16,518
支払利息	2,570	2,635
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△14,400
関係会社株式売却損益(△は益)	842	—
為替差損益(△は益)	△163	△1,750
売上債権の増減額(△は増加)	46,071	△41,804
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,796	5,603
仕入債務の増減額(△は減少)	△7,448	1,208
未払消費税等の増減額(△は減少)	6,462	1,030
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	△1,691	△37
その他の資産の増減額(△は増加)	△4,966	△13,159
その他の負債の増減額(△は減少)	△12,462	10,719
小計	△78,738	△66,548
利息及び配当金の受取額	19,092	19,993
利息の支払額	△2,061	△2,635
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△2,267	8,938
営業活動によるキャッシュ・フロー	△63,974	△40,252
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,238	△4,472
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△30,125	—
投資有価証券の取得による支出	—	△29,550
投資有価証券の売却による収入	4,200	4,274
敷金及び保証金の差入による支出	△562	—
長期貸付金の回収による収入	27,854	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,872	△29,748

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年8月1日 至平成30年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年8月1日 至平成31年1月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△80,000	—
長期借入れによる収入	80,000	80,000
長期借入金の返済による支出	△105,166	△122,240
財務活動によるキャッシュ・フロー	△105,166	△42,240
現金及び現金同等物に係る換算差額	△892	1,226
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△177,904	△111,014
現金及び現金同等物の期首残高	1,140,384	1,010,494
現金及び現金同等物の四半期末残高	962,479	899,479

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成29年8月1日 至 平成30年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	法人事業	コンシューマ ー事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	567,222	155,823	723,046	60	723,106	—	723,106
セグメント間の 内部売上高又は振替 高	540	—	540	—	540	△540	—
計	567,762	155,823	723,586	60	723,646	△540	723,106
セグメント利益又は 損失(△)	△3,696	20,483	16,787	△16,202	584	△95,170	△94,586

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主として研究開発部門の新規領域での事業活動等になります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、全社管理部門の費用です。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成30年8月1日 至 平成31年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	法人事業	コンシューマ ー事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	781,926	162,462	944,388	26	944,415	—	944,415
セグメント間の 内部売上高又は振替 高	—	—	—	—	—	—	—
計	781,926	162,462	944,388	26	944,415	—	944,415
セグメント利益又は 損失(△)	72,957	19,360	92,317	△11,892	80,424	△96,877	△16,453

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主として研究開発部門の新規領域での事業活動等になります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、全社管理部門の費用です。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。